

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部
1 -	生涯学習や文化芸術活動の環境を充実する	市民部、社会教育部

所管事業に関連する成果指標

指標名	単位	改訂計画 策定時	実績値				5年度 目標値
			2年度	3年度	4年度	5年度	
各種講座・講習会への参加者数（年間）	人	46,836	10,956				49,400
博物館・美術館の特別展の観覧者数（年間）	人	198,813	28,859				142,300

関連事業

地域の人材発掘・活用事業 多様な学習推進事業 魅力ある美術展覧会事業 美術教育の普及・体験事業 博物館教育普及活動推進事業 博物館特別展事業 無形文化財保護事業 囲碁文化振興事業 地区公民館整備事業 文化芸術ホール開館準備事業

決算額

	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費(千円)	163,824			
執行率(%)	61.16			

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

「公民館における生涯学習の推進」

コロナ危機でも学びを止めないことの重要性が多くの人に共有されたことから、制限下においても「集まらない事業」を交えながら、シニア学級、家庭教育学級等を開催することで、現代的課題・生活課題等を取り上げた多様な学習機会を提供しました。

「博物館・美術館の取組」

博物館の特別展では、雲や虹などの大気現象や光学現象を紹介する「光と色の不思議」や昭和初期の習俗を描いたボールペン画「よみがえる少年の日々」展、昨夏関東上空で観測された火球とその由来隕石の実物を展示した「火球と隕石」展を開催しました。

美術館では、コロナ対策を講じつつ、「彫刻たちの饗宴」、「日常という宝物」、「国際興業コレクションを中心に」、「宮川慶子展」の4回の特集展等を開催したほか、美

術教育普及活動を推進するため、ワークショップ等を11回開催しました。

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

新型コロナウイルス感染症の影響から観客数を制限しましたが、感染症対策を徹底した上で「第44回ひらつか民俗芸能大会」を開催することで、守り伝えられてきた郷土の民俗芸能を披露しました。また、演技指導者の派遣を行い、座員の技術向上を図りました。

「地域の特色ある文化資源（囲碁）の活用」

平塚市まちづくり財団と連携し、女流棋聖戦の誘致、女性・子ども対象囲碁教室等、各種イベントを実施しました。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

平塚文化芸術ホールの供用開始に向け、指定管理者等との各種協議を実施しました。

「地区公民館の整備・建設」

生涯学習活動及び地域活動を推進するため、吉沢公民館の建設工事に着手しました。

施策を推進する上での「課題」

「公民館における生涯学習の推進」
社会情勢や市民ニーズの把握に努め、年齢層や地域課題にあった講座を展開する必要があります。また、学びが継続するよう、課題に取り組む意欲を高める必要があります。

「博物館・美術館の取組」
「新しい生活様式」に則った館運営と地域の自然と文化や美術に対する関心を高め、観覧者数等を増やす必要があります。

課題解決を図るための「取組方針」

「公民館における生涯学習の推進」
公民館運営委員会の意見を伺いながら、社会情勢や市民ニーズの把握に努めます。また、課題を自分事と捉えられる人材や意識を育てるため、ESD（持続可能な開発のための教育）の取り組みを意識した事業を展開していきます。

「博物館・美術館の取組」
地域の自然や文化について、特別展やプラネタリウム、普及体験事業を開催し市民の知的欲求にこたえるとともに、YouTube動画「5分でわかる平塚学入門」などWebでのプログラムにも力を入れます。市民の美術に対する知識が向上するよう優れた美術を鑑賞する機会の充実に努めます。また、ワークショップ等を開催し、幅広い年齢層の方が気軽に美術活動に取り組める機会の提供に努めます。

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

無形文化財（郷土芸能）保持者の高齢化や継承者の減少に対応するため、新たな後継者の確保や育成が必要です。

「地域の特色ある文化資源(囲碁)の活用」

囲碁文化の更なる普及振興を図るために、これまでの事業の実施状況などを踏まえ、事業実施やPR方法を工夫する必要があります。また、囲碁文化の担い手となる人材確保及び育成が課題です。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

供用開始に向けて遅滞なく準備を進めるためのスケジュール管理が必要となります。また関係機関との各種協議を綿密に連携しながら進めていく必要があります。

「地区公民館の整備・建設」

生涯学習活動及び地域活動を推進するため、老朽化や経年劣化した公民館を整備・改修する必要があります。

「地域の特色ある文化資源（無形文化財）の活用」

後継者育成のため、演技指導者の派遣を行うとともに、公演の機会を提供し、演技技術の維持向上を図ります。また、他事業と連携して子どもたちへの体験事業などを行います。

「地域の特色ある文化資源(囲碁)の活用」

平塚市まちづくり財団と協力し、囲碁に触れ親しむ方の増加や棋力強化につながる教室などの事業を継続するほか、普及振興を担う人材育成等に取り組みます。

「平塚文化芸術ホールの開館準備」

文化芸術ホール開館後の管理・運営について、継続して指定管理者、平塚市まちづくり財団等との各種協議を進めます。開館後は、指定管理者による維持管理・運営業務を行います。様々な文化芸術に触れる機会を作る文化芸術拠点、また、多くの交流が生まれる賑わい拠点を目指します。

「地区公民館の整備・建設」

個別施設計画に沿って、老朽化や経年劣化した公民館を順次整備・改修していきます。